

即興小説 挑戦者求む



即興で小説の腕前を競う「N-1グランプリ」開催に向け、打ち合わせをするスタッフやボランティアたち（京都市右京区）

京都精華大で11日「N-1」

即興で小説を書き、出来栄を競う「N-1グランプリ」を、京都府内の観光団体などがつくる「京都フラワーツーリズム推進協議会」（京都市右京区）と京都精華大（左京区）が12月11日に、同大学で初開催する。本来は推敲を重ねて練り上げる小説を、課題の要素を盛り込みながら短時間で競作するコンテストで、参加者を募っている。

同協議会は昨年度、約30分で小説を書いて京都を舞台とした小説朗読してもらった。その公募を通して読者らが好評だったため、の観光誘致を図る企画。今年も「N-1グランプリ」を実施。今年も「ノベルなび」をテーマに、加を募って作品の優劣試験的にプロ作家と観客を競うことにした。客に「嵐山」「毛皮」今年も、ノベルなび「ホテル」をテーマにの優秀作品の表彰式に

3テーマ盛り込み プロ・アマ真剣勝負

合わせて行う。参加者は昨年と同様、会場で提案される三つのテーマを盛り込んで短編小説を仕上げ、読み上げる。来場者の投票で最優秀者を選び、副賞として観光タクシーの3時間貸し切りサービスを贈る。

イベントのボランティアスタッフで、N-1に参加予定の小説家寒竹泉美さん（31）は「その場で小説を書くことで、舞台を演じるようなおもしろさや、書き手のエネルギーが伝わると思っている」と話している。

参加申し込みは前日まで、アドレスhttp://novelnavi.net/n-1かS.同協議会 ☎075（861）0534。（山田修裕）